



もうすぐ夏休みです。今夏もセミの鳴き声があちこちで響くことでしょう。さて、6月にアメリカで、17年ゼミが大量発生したというニュースがあり、「中野の100冊」にも選定されている「素数ゼミの謎」の本を思い出した人もいるでしょう。みなさんが生まれる前からずっと17年間も地中で、羽化する日を待っていたアメリカの不思議なセミです。

今、学校の花壇に、星形の白いツルハナナスの花が咲いています。明和中学校の校章は、この花をイメージしてデザインされています。春から晩秋まで咲き続けるそうです。学校図書館の花事典に載っています。このように学校図書館には、いろいろなジャンルの本がそろっています。日々の生活で、何か気付いた時に、学校図書館で関連した本を探してみることをおすすめします。5日から夏休み特別貸し出しを始めます。普段、読まないジャンルの本も読んでみませんか。

青少年読書感想文全国コンクール課題図書

読書感想文



中学校の部

『ウイズ・ユー』 濱野 京子/作 くもん出版 913ハ

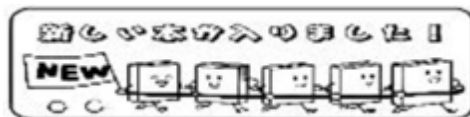
中学三年生の悠人は、家族関係に悩み、自分の存在意義がわからなくなっている。日課のランニング中に、公園のブランコに座るひとつ年下の少女、朱音と出会う。彼女は、病気の母親を支えながら、幼い妹の世話、家事を担う「ヤングケアラー」だった。

『アーニャは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ/作 佐藤 見果夢/訳 評論社 933モ

第二次世界大戦中のフランスの山間部の村。ある日、羊飼いの少年ジョーは、ナチスの迫害を逃れたユダヤ人の子どもたちと出会い、彼らの亡命に協力することになる。そして、村人全員を巻き込む大騒動となる。村人たちが命がけで守りぬいたものとは？アーニャとは？

『牧野富太郎 日本植物学の父』 清水洋美/文 里見 和彦/絵 汐文社 289マ

「日本の植物の父」とよばれる牧野富太郎の94年の人生が描かれている。日本全国の野山を歩いて集めた標本は、40万点、分類して、名前をつけた植物は1500種類。この本には、植物に学名をつけて発表する時には、証拠として標本が必要なこと、また、時がたっても状態がよければ標本から、DNAを取り出せることなども書いてあり、植物好きな人には、おすすめ！



新着図書

請求記号	書名	著者	出版社
289 マ	牧野富太郎 ー日本植物学の父ー	清水 洋美	汐文社
404 モ	カガク力を強くする！ (岩波ジュニア新書)	元村 有希子	岩波書店
407 サ	科学者になりたい君へ	佐藤 勝彦	河出書房新社
491 ハ	スマホ脳	アンデシュ・ハンセン	新潮社
493 イ	図解感染症の世界史	石 弘之	KADOKAWA
520 ク	建築家になりたい君へ	隈 研吾	河出書房新社
913 ア	お探し物は図書室まで	青山 美智子	ポプラ社
913 セ	その扉をたたく音	瀬尾 まいこ	集英社
913 ソ	ぼくらの復活大作戦	宗田 理	KADOKAWA
913 ナ	サンドイッチクラブ	長江 優子	岩波書店
913 ハ	ウィズ・ユー	濱野 京子	くもん出版
913 ハ	都会(まち)のトム&ソーヤ 17 逆立ちするライオン	はやみね かおる	講談社
913 ヒ	新 謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉	小学館
913 マ	52 ヘルツのクジラたち	町田 そのこ	中央公論新社
913 ミ	名探偵コナン 緋色の弾丸 (小学館ジュニア文庫)	水稀 しま	小学館
933 モ	アーニャは、きっと来る	マイケル・モーパーゴ	評論社

特集！

おすすめの本を展示中！

前回の学校図書館だよりで、図書委員が紹介したおすすめの本を紹介文と一緒に展示中です。

また、明和中学校図書館には、課題図書に描かれた牧野富太郎が著者である「原色牧野植物大図鑑」があります。貸し出しはできませんが、この大図鑑も展示しています。この機会にぜひ、来館してください。



図書館からの

おしらせ

○夏休みの特別貸し出しは、7月5日(月)からです。1人5冊までです。借りる時は、今、借りている本は返却、または、延長手続きをしてください。返却期限日は、9月3日(金)です。学校図書館は、8月は閉館です。閉館中の返却は、学校図書館前の返却ポストに入れてください。